

平成 26 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアII講座・准教授
氏名 Name	原真由子
専門分野 Academic Field	社会言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	バリ語とインドネシア語のコード混在コーパス構築と社会言語学的動態の記述
<p>本研究は、バリ言語社会の「多数派」であるバリ語平地方言話者によるバリ語とインドネシア語のコード混在についてすでに私が行った記述・分析を根幹として「少数派」、つまり近年増加しているインドネシア語をより多用する若年層のバリ語平地方言話者とインドネシア語と平地方言の干渉を受けつつあるマイナー方言のバリ語山地方言話者にも調査対象を広げ、バリ社会の会話コーパス構築を主な目的としている。平成 26 年度は、前年度に引き続き、山地方言の会話を収集・記録しながら、平地方言との大きな違いの 1 つである山地方言の敬語に注目し、調査研究を行った。</p> <p>現地調査は 2 回行った。まず、平成 26 年 9 月におよそ 2 週間のバリ現地調査を実施した。主に、山地方言使用地域であるバリ州ブレレン県プダワ村で、敬語表現が唯一現れる人称詞・呼称、そして敬語使用の背景となるプダワ村の社会構造や親族体系などを調べた。2 回目は、平成 27 年 2 月におよそ 10 日間、同村を中心に調査を継続した。また、2 回とも現地のウダヤナ大学と国立言語研究所デンパサール支所の研究者と、インドネシア語やバリ語を含む諸地方語および言語に関わる文化・社会・政策などについて議論し、意見交換を行った。</p> <p>平成 26 年 11 月開催の日本インドネシア学会で、上記のバリ語山地方言の敬語表現に関する調査内容を一部発表した。</p> <p>また、インドネシア語教育の分野において、共同研究者と研究会を数回開き、前年度に開始したインドネシア語教育用文法の記述をさらに進めた。その内容の一部を、平成 26 年 11 月開催の外国語教育学会で発表した。</p>	